

片岡安が活躍した時代の大阪都市計画

－20世紀前半の都市計画図に見る、その発展過程－

期 間 2015年3月30日(月)～ 5月29日(金) 11:00～ 17:00 (土日祝除く)
主 催 大阪工業大学工学部建築学科都市計画研究室、常翔歴史館
観覧料 無料

関西工学専修学校の初代校長をつとめた片岡安は、建築家として活躍すると同時に都市計画の専門家として日本の都市計画行政に多大な貢献をし、特に大阪の都市基盤整備に尽力しました。

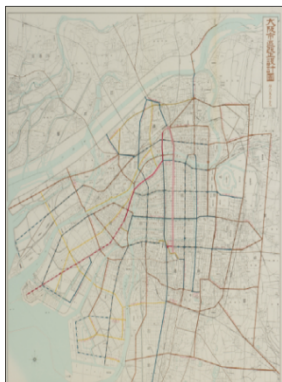
この企画展は、都市計画の専門書である「現代都市之研究」を刊行した1916年（大正5年）から片岡が亡くなる1946年（昭和21年）までの30年間を主な対象とし、今日の大阪市の街並みの基盤が築かれた20世紀前半における大阪都市計画の発展過程を、当時の都市計画図から紐解きます。



【片岡安 略歴】

1876年石川県生まれ。東京帝国大学工科大学造家学科卒業。1903年「日本銀行本店」「東京駅」などを手掛けた建築界の重鎮である辰野金吾と「辰野片岡建築事務所」を開設。1919年都市計画に関する論文で工学博士の学位を受ける。1922年辰野から独立し「片岡建築事務所」を開設。後の大阪市長関一とともに大阪の都市基盤整備を進め、代表的な作品には「奈良ホテル」「大阪市中央公会堂」などがある。また、大阪工業会理事長、大阪商工会議所会頭といった大阪財界の要職も歴任。当時の大阪は工業都市へと変貌する時期であり、都市整備にかかる技術者育成の必要性を感じた片岡は、同じ思いを共有する初代校主・本庄京三郎とともに、1922年10月、関西工学専修学校(本学園の前身)を設立した。

企画展で展示している都市計画図の一部紹介



「大阪市都市改良計画調査会」(大阪市助役関一が委員長、片岡安は委員)の検討作業を経て、1920年(大正9年)に告示された「大阪市区改正設計」に基づき、この「**大阪市区改正設計図**」が作成されました。現在の御堂筋が、この「市区改正設計」では唯一の「広路」(幅員24間、約44m)、その名も御堂筋として決定されています。その御堂筋は、18年後の1937年(昭和12年)に竣工されます。1919年には都市計画法・市街地建築物法(現行の建築基準法)が公布され、翌年施行されています。片岡と関は、この法律を建議する中で中心的な役割を果たしたと言われています。



「**大阪都市計画総覧**」図は、1927年(昭和2年)に作成されました。「大阪都市計画総覧」図を見ると、都市計画法等法律施行から約7年間で、大阪で決定された「メニュー」は、街路網、用途地域、防火地区、下水道、高速度交通機関(地下鉄)であり、公園や河川運河、墓地などは未だ決定されていないことが分かります。また、「大阪市区改正設計」と比較すると街路網については、路線の位置は「改正設計」がほぼそのまま踏襲されています。



「**(総合)大阪都市計画図**」は1928年(昭和3年)に「都市計画大阪地方委員会」(片岡、関は委員。学園創設理事6名が委員を務める)の審議を経て作成されています。1年前の1927年の「大阪都市計画総覧」図では見られなかった公園、運河、墓地などの施設が計画に入れられています。項目毎の特別委員会は3部門作られ、公園、墓地では片岡安が委員長を務めています。また、運河、下水では、学園創設理事の一人、直木倫太郎が委員長を務めています。そして、片岡らが計画した意図が、この後の時代の都市計画図(展示品)の計画内容に受け継がれていることが見て取れます。

お問い合わせ

■ 常翔歴史館事務室

所在地: 大阪市旭区大宮5-16-1
電話番号: 06-6955-7762
FAX番号: 06-6955-7761
開館時間: 月～金 11:00～17:00

【アクセス】

- ・地下鉄谷町線「太子橋今市駅」徒歩12分
- ・大阪市バス「中宮(大阪工大前)」徒歩1分
- ・京阪本線「千林駅」徒歩20分

アクセスマップ Access Map

